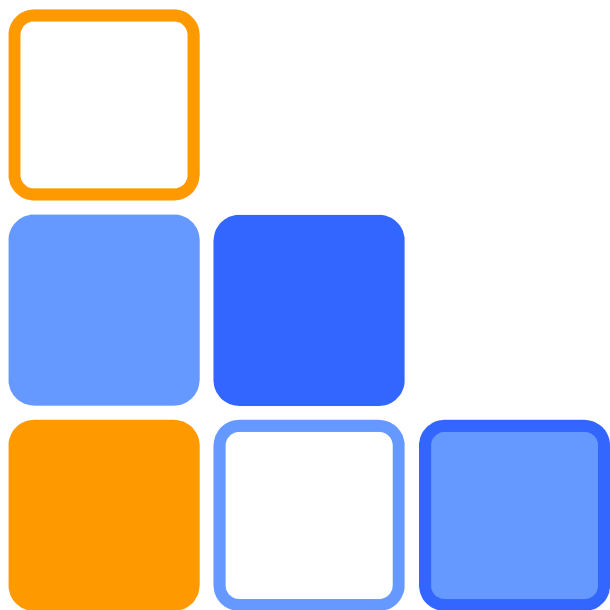


茨城県における 企業との連携による取組

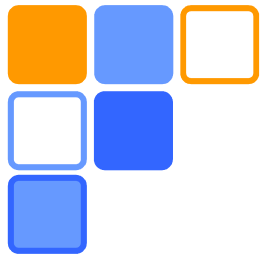


茨城県教育委員会
マスコットキャラクターの
「ふれあちゃん」です。

よろしくね。

茨城県教育庁総務企画部
生涯学習課





事業の背景

- 社会全体の教育力の低下が叫ばれており、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、社会全体の教育力の向上が求められている。そのため、学校・家庭・地域等がそれぞれの教育力を高めていく必要があるとともに、しっかりと連携して子どもたちを育むことが重要となってきた。
- 地域の核である企業から学校に対する支援や、県が企業を通して家庭教育を支援することで、社会全体の教育力の向上に大きな力となる。



企業と連携する上で学校は…

- ・本物を知ることを通して、子どもたちの学習意欲を高めたい。
- ・子どもたちに働く喜びや仕事の厳しさを実体験する機会をもたせたい。



体験活動を通して、未来を担う子どもたちに

- ・社会の一員として自立できるための力を育む
- ・生きる力を育む

【現状】

- 出前授業の講師や工場見学の窓口(連絡先)が分からない。
- 職場体験, 産業現場実習等の受け入れ先が見つからない。
⇒ ・外部との連携を図る教員がいない。連携の経験不足。
・教員の多忙化。



学校と連携する上で企業は…

- ・自社の学習資源を活用しながら地域社会の一員として地域活性化などの地域課題の解決を担う。
- ・社員が自ら学習の機会をもち、自らの生活を充実させるなど、学習の成果を活用して社会参画や地域貢献し、自己実現を図る。



「企業の地域貢献」「社員のワーク・ライフ・バランス」

【現状】

- 学校支援等の社会貢献を相談する窓口が不明確。
- 学校からの要請が突発的で、継続性・連続性に欠ける。
- 学校のニーズの把握が難しい。
- 授業にどのように組み込めるかイメージがわからない。

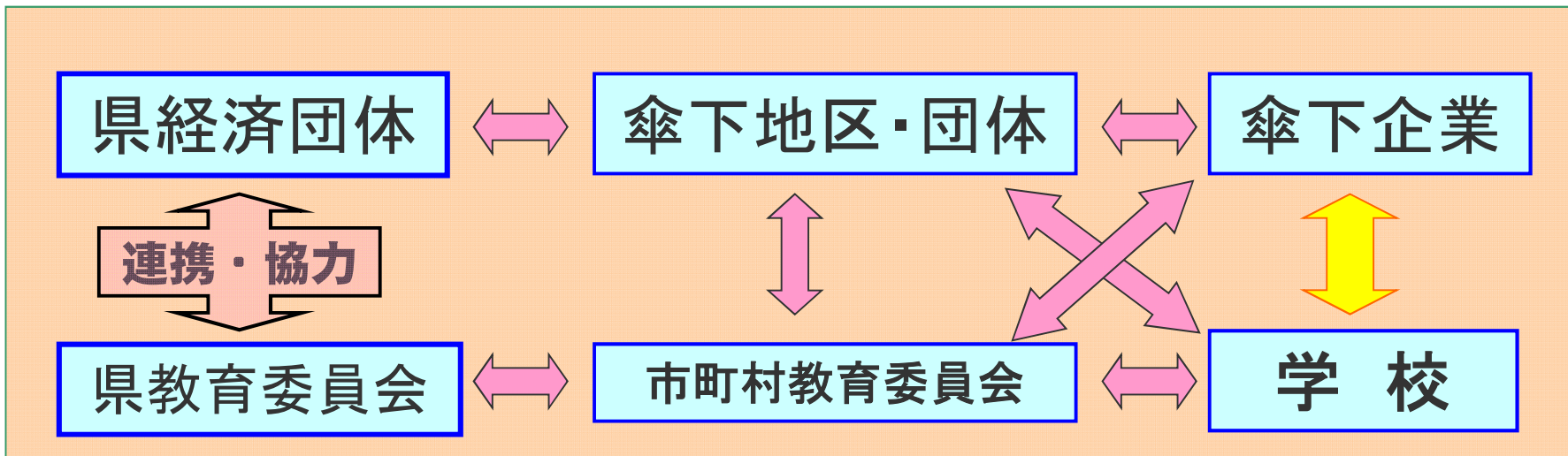


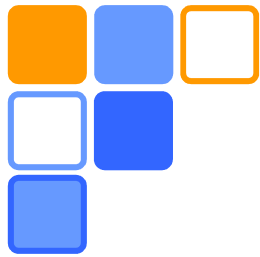
これまでの連携は…

学校と企業等との1対1の関係が多い
【個別的な連携】



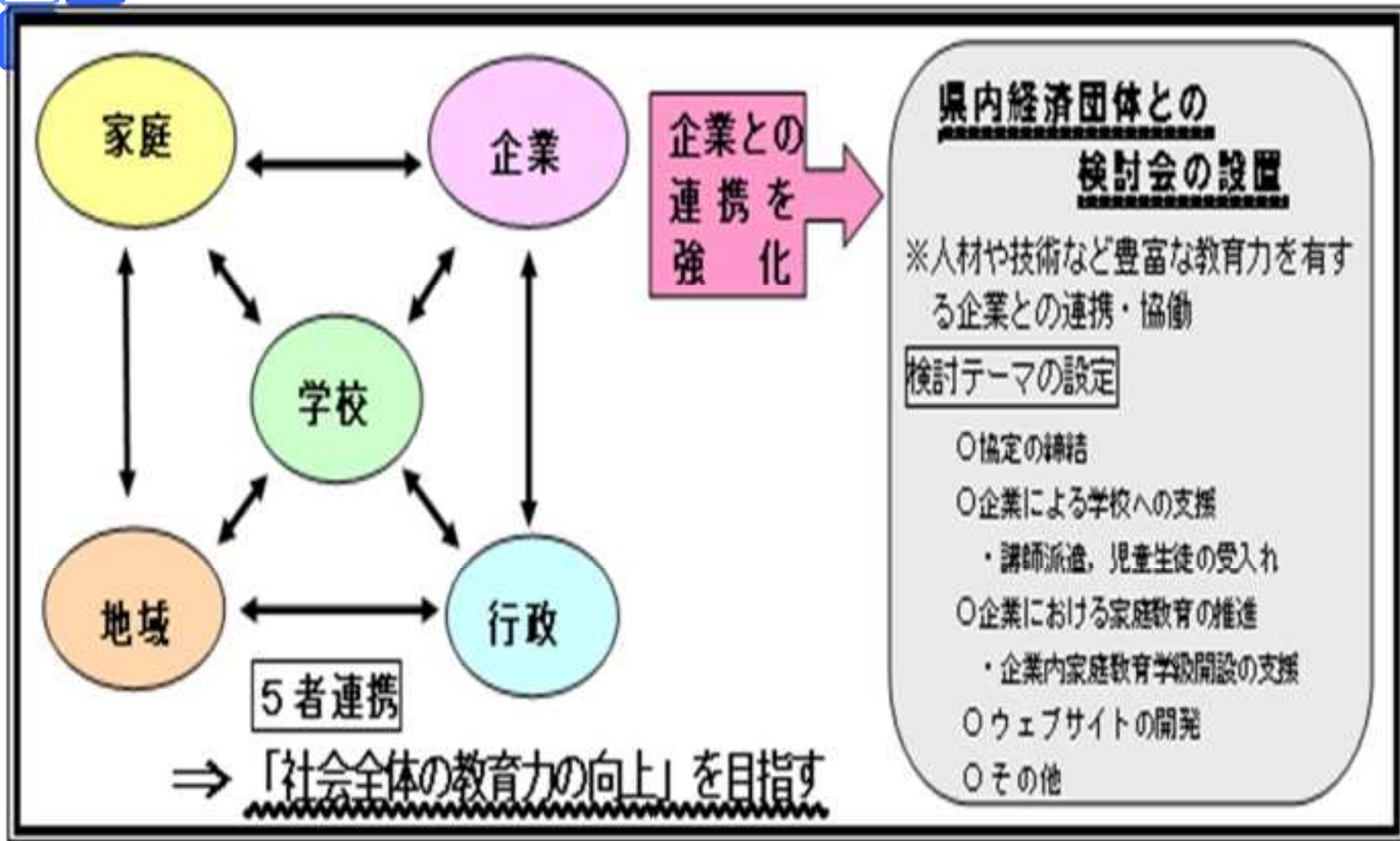
組織的・体系的な連携

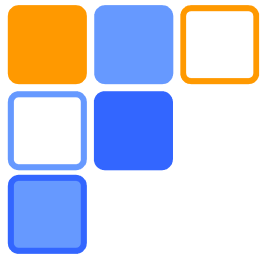




事業の目的

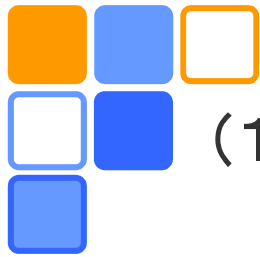
- 社会全体の教育力の向上を図るために、「企業と茨城県教育委員会との連携による教育支援推進に関する協定」に基づき、企業と県による学校支援、家庭教育支援についての検討会を設置した上で、企業における学校支援や県における企業を介した家庭教育支援の充実を図る。
 - ・企業のもつ教育的財産（専門的な知識や技能、保有施設等）を学校の授業等に活用
 - ・企業内における従業員研修において、家庭教育の重要性について啓発





事業の概要

- (1)「企業と県教育庁との連携による教育支援のための検討会」の開催
- (2)「企業と茨城県教育委員会との連携による教育支援推進に関する協定」の締結
- (3)「企業による学校支援ハンドブック」の作成
- (4)「企業DEいきいき家庭教育～企業における家庭教育支援リーフレット～」(従業員向け家庭教育学級等の開設支援資料)の作成
- (5)「企業との連携による教育支援ウェブサイト」の作成
- (6)企業における家庭教育学級の実施



(1)「企業と県教育庁との連携による教育支援のための検討会」 の開催

【検討会の構成】

□ 茨城産業会議

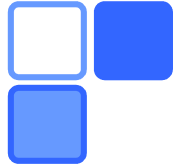
- ・(一社)茨城県経営者協会
- ・茨城県商工会議所連合会
- ・茨城県商工会連合会
- ・茨城県中小企業団体中央会

□ 茨城県教育庁

- ・総務企画部長(座長)
- ・義務教育課
- ・高校教育課
- ・特別支援教育課
- ・生涯学習課

□ 教育現場

- ・市町村教育長協議会代表
- ・小中学校, 高等学校, 特別支援学校の各校長会代表



(2)「企業と茨城県教育委員会との連携による教育支援推進に関する協定」の締結

【協定の内容】

- 学校が行う教育活動に対する企業からの支援
- 企業の従業員向け家庭教育学級等の開設に対する県からの支援



締結式の様子



(3)「企業による学校支援ハンドブック」の作成

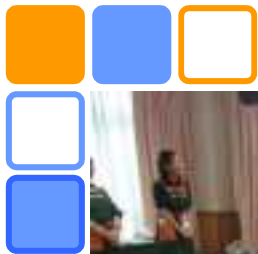
- 企業が提供する学校支援メニューを分野別に掲載し、必要な情報をまとめ、学校に提供する。

メニュー…具体的な支援内容，連絡先，対象校種，対応教科，謝金，旅費，受入れ可能人数など

⇒学 校：希望した支援内容に合致する講師の派遣や職場見学・体験の受入れ可能な企業等を探することができる。

⇒企 業：学校支援を実施していない企業がハンドブックの学校支援メニューを見て，新たに学校支援に取り組む参考にする事ができる。

学校支援企業の登録状況 221企業（981事業所）



企業による出前授業の様子



(4)「企業DEいきいき家庭教育～企業における家庭教育支援リーフレット～」(従業員向け家庭教育学級等の開設支援資料)の作成

- 企業における家庭教育推進の取組の充実のために、教育委員会が企業へ支援することで、家庭の教育力の向上を図る。
- 企業における家庭教育学級等の実践例や実施方法についてまとめて、企業に提供する。
 - ・掲載内容・・・過去の実践例，企業における家庭教育学級の企画・運営方法等



(5)「企業との連携による教育支援ウェブサイト」の作成

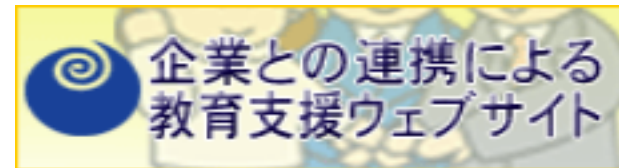
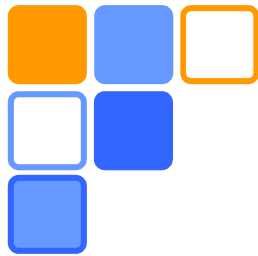
- 学校や企業が簡単に必要な情報を得ることができるよう、「企業による学校支援」「企業における家庭教育支援」のウェブサイトを作成した。

ア 「学校支援メニュー」に関するデータの提供

- ・検索機能で希望する企業情報の提供による学校支援
- ・企業による学校支援の事例紹介

イ 「企業における家庭教育支援」に関するデータの提供

- ・家庭教育支援員等企業へ派遣する講師情報の提供
- ・企業における家庭教育学級等の事例紹介



URL: <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/kigyou/>

茨城県教育委員会
Ibaraki Prefectural Board of Education

企業との連携による教育支援ウェブサイト

企業との連携による教育支援ウェブサイト
企業のお力をお母さんお父さんのお子育に活かします。

トップページ

学校関係の方
・企業による学校支援

企業関係の方
・企業における家庭教育
・企業による学校支援

・困ったときは
(よくある質問)
・新たに登録する場合は

学校関係の方へ

企業関係の方へ

企業連携による教育力向上推進事業について

・困ったときは ?
(よくある質問)
・新たに登録する場合は

最新情報

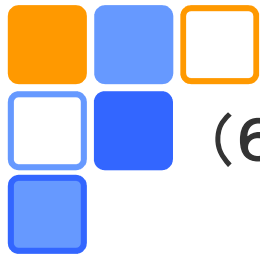
2015/09/29
茨城リネンサプライ株式会社において家庭教育学級を開催しました。

2015/09/10
有限会社サフムラヤ(牛久市)が学校支援企業に登録しました。

2015/07/24
ヤチシキウホンダ株式会社「Honda Cars 常陸西 日立小水店」において家庭教育学級を開催しました。

お知らせ

2015/09/30
ひたちなか市立部河原第三小学校でいばらきコープが授業を実施しました。



(6) 企業における家庭教育学級の実施

- 企業の研修の一環として家庭教育学級を実施することで、忙しくて学校や地域の家庭教育に関する研修会(家庭教育学級等)に参加することが困難な保護者にも、家庭教育の重要性について再認識する機会がもてる。





(6) 企業における家庭教育学級の実施

ア 実施に向けた計画

企業側のニーズに合わせ、柔軟に対応

テーマ…家庭教育に関する今日的な課題・社会問題，従業員の方の意識や悩み，子どもの実態を考慮して設定する。

方 法…講演会型
フリートーク型
体験学習型

進め方…学習内容の設定，期日・日程(プログラム)，会場の調整，講師の選定と依頼や打合せなどを相談しながら進める。



(6) 企業における家庭教育学級の実施

イ 本年度の実施状況(H27.12現在)

家庭教育学級実施状況 27事業所

※旧事業「いきいき子育て地域連携実践講座開設事業」

(H14～H25)

実績	H25.....15事業所
	H24.....10事業所
	H23.....10事業所
	H22.....11事業所

家庭教育支援講師の登録状況 53名

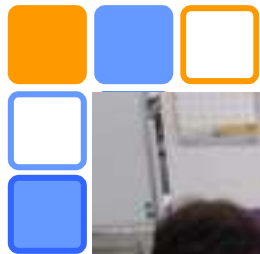


(6) 企業における家庭教育学級の実施

イ 本年度の実施状況

講師・・・家庭教育推進員，社会教育主事等

テーマ	内容
家族団らんの大切さ	・家族で食事をとることの大切さ ・父親・母親・祖父母の子育て
よく使う言葉？ ～言葉の力について考えよう～	・よく使っている言葉の振り返り ・リフレーミング(言葉の力を考える)
言葉ひとつで思春期の心をひらくポイント	・子どもの心に寄り添う聞き方 ・子どものやる気を引き出す
親って何だろう？	・「叱る」と「怒る」の違い ・親より友達が大切な時期とは
子どもと絶対的な信頼関係を築く	・0～3歳までで大事なこと ・3歳以降に大事なこと ・中学校以降に大事なこと
仕事と家庭との両立について	・親子コミュニケーション ・先輩からの子育てアドバイス
社員の元気が，企業の活力に	・企業連携事業の説明 ・企業における家庭教育支援の必要性



企業における家庭教育学級の様子



(6) 企業における家庭教育学級の実施

ウ 参加者・企業担当者の感想

- ・普段、子供をほめて育てているつもりでも、改めて振り返ってみると自分の子育てに疑問を感じました。このような振り返りの時間は大切だなと思いました。
- ・これからは、抱きしめたり、やさしい目線で見つめてあげたりしたいです。本もたくさん読んであげたいと思います。
- ・ほめるときの言葉や話し方について、参考になりました。
- ・学校での懇談会に参加したことがなかったので、今日、子育ての話聞いて、とても勉強になりました。
- ・学んだことは、子どもに対してだけでなく、後輩に対しても共通する部分がありました。
- ・子どもの教育も、職場のコミュニケーションや教育も同じだと感じました。職場でも生かせる内容でした。




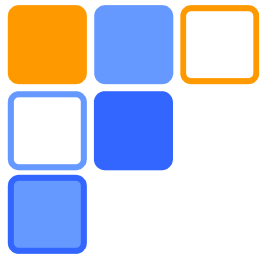
(6) 企業における家庭教育学級の実施

エ 「企業との連携による教育支援ウェブサイト」への実施内容の掲載

- 企業における家庭教育学級の事例を紹介することで、企業が研修の中に家庭教育学級を組み入れる際の具体的な開催方法や講座内容等の情報の提供ができる。

セキショウホング株式会社	
「普通」ということの難しさ	
講師名	徳重 恵司
開催日	2015年11月02日
参加者数	12名
開催場所	Honda Cars茨城西 筑西橋店
内容	1 「普通」ということの難しさ 2 言葉ひとつで思春期の心をひらくポイント 3 こんな「子こさあい」が「やる気」を引き出す
参加者の感想等	・子育てだけでなく、会社内での教育としても、同じことがいえると感じました。





今後の課題

企業による学校支援

- 「企業との連携による教育支援ウェブサイト」を広く広報し、学校での積極的な活用を推進する。
- 企業の登録数を増やし、学校支援を進める。

企業における家庭教育学級

- 企業の経営者や担当者に事業説明する機会を多く持ち、その必要性を理解してもらった上で、企業における家庭教育学級をより多く開催できるよう支援する。
- 企業における家庭教育学級の実施をさらに推進し、社会全体での家庭の教育力向上を図る。

ご静聴ありがとうございました。



ふれあちゃん